

2018年（平成30年）4月27日

平成29年度 決算の概要

I 連結決算（別添1）

1. 経営成績

（単位：億円、単位未満切捨）

	通 期							
	平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減		備考	平成30年度 見通し C	増 減	
			金額 B-A	% B/A			金額 C-B	% C/B
営業収益	1,902	1,945	+43	+2.3		2,001	+55	+2.8
営業費用	1,777	1,822	+45	+2.5		1,884	+61	+3.4
営業利益	124	122	-1	-1.3		117	-5	-4.7
経常利益	103	104	+1	+1.2	連結決算開始（13年度～）以来最高益	100	-4	-4.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	129	76	-53	-41.0		69	-7	-9.9

2. セグメント情報

（単位：億円、単位未満切捨）

		通 期						
		平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減		平成30年度 見通し C	増 減	
				金額 B-A	% B/A		金額 C-B	% C/B
鉄道ロジスティクス 事業	売上高	1,688	1,732	+43	+2.6	1,761	+28	+1.6
	営業利益	15	16	+0	+3.6	12	-4	-25.4
不動産事業	売上高	217	213	-4	-1.9	243	+29	+13.8
	営業利益	105	104	-1	-1.2	101	-3	-3.2
その他	売上高	99	103	+3	+3.7	97	-6	-6.5
	営業利益	0	0	-0	-21.7	0	+0	+9.4

3. 平成29年度連結経営成績

- ・ **営業収益**は、単体の運輸収入の増加、子会社の利用運送事業収入の増加等により**増収**。
- ・ **経常利益**は、**2年連続で100億円以上を達成**、連結決算開始以来**最高益**。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度の仙台貨物ターミナル駅・梶ヶ谷貨物ターミナル駅用地の売却益の反動減等により減益。
- ・ **鉄道ロジスティクス事業**は**2年連続の黒字**。

4. 平成30年度連結業績見通し（数値は上記1、2の通り）

- ・ **営業収益**は、単体の運輸収入の増加に加え、不動産事業の売上高増加（分譲マンション収入）等により**増収**の見込み。
- ・ **営業利益**は、修繕費や動力費等の営業費用の増加により**減益**の見込み。**経常利益**も**減益**を見込むものの、「経営自立計画」の目標である**3年連続の100億円の達成**を目指す。
- ・ **鉄道ロジスティクス事業**においても**3年連続の黒字**を見込む。

5. 財政状態

(1) 資産の部 4,146億円 (対前期末 +95億円 / +2.4%)

・現金及び預金の増、固定資産の増 等

(2) 負債の部 3,218億円 (対前期末 +18億円 / +0.6%)

・長期借入金の増 等

(3) 純資産の部 928億円 (対前期末 +77億円 / +9.1%)

・親会社株主に帰属する当期純利益による株主資本 (利益剰余金) の積増し 等

6. キャッシュ・フローの状況

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー +276億円

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー -247億円

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー +44億円

7. 設備投資

(単位：億円、単位未満切捨)

		通 期			
		平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減	
				金額 B - A	% B / A
鉄道ロジスティクス事業	設備投資額	207	250	+43	+20.8
不動産事業	設備投資額	1	11	+10	+606.4
その他	設備投資額	-	-	-	-

8. 連結の範囲

(1) 連結子会社 22社 (対前期末 -3社)

(2) 持分法適用会社 11社 (対前期末 増減無し)

II 単体決算（別添2）

1. 経営成績

（単位：億円、単位未満切捨）

			通 期				備考
			平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減		
					金額 B-A	% B/A	
鉄道 事業	営業収益	1,369	1,411	+42	+3.1	5年連続増収	
	営業費用	1,364	1,405	+41	+3.0		
	営業利益	5	6	+0	+13.8	事業別開示（18年度～）以来、最高益、2年連続黒字	
関連 事業	営業収益	177	171	-5	-3.2	2年連続減収	
	営業費用	73	68	-4	-6.3		
	営業利益	103	102	-1	-1.1	2年連続減益	
全事業	営業収益	1,546	1,582	+36	+2.3		
	営業費用	1,437	1,474	+36	+2.6		
	営業利益	109	108	-0	-0.3		
経常利益		88	91	+2	+2.5	会社発足以来最高益、3年連続増益	
当期純利益		120	72	-48	-39.8		

（参考）輸送量 3,164万トン（対前期 +70万トン／+2.3%）（別添3）

- ・コンテナ 2,243万トン（対前期 +44万トン／+2.0%）
自動車部品、積合せ貨物、食料工業品等の増、紙・パルプ等の減 等
- ・車扱 920万トン（対前期 +26万トン／+2.9%）
石油の増 等

2. 財政状態

(1) 資産の部 3,750億円（対前期末 +93億円／+2.5%）

(2) 負債の部 3,037億円（対前期末 +20億円／+0.7%）

- ・長期無利子借入金の増、長期有利子借入金の減 等

（参考）当期末長期債務 1,637億円（対前期末 +55億円／+3.5%）

- ・有利子債務 737億円（対前期末 -71億円／-8.9%）

- ・無利子債務 899億円（対前期末 +126億円／+16.4%）

(3) 純資産の部 713億円（対前期末 +72億円／+11.4%）

3. キャッシュ・フローの状況

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー +249億円

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー -197億円

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー +25億円

4. 設備投資

- ・総額241億円（対前期 +42億円／+21.7%）

(1) 鉄道事業 229億円（対前期 +33億円／+16.9%）

- ・車両新製（機関車6両、コンテナ車442両） 112億円、東京貨物ターミナル駅大型物流施設建設関連 29億円、仙台貨物ターミナル駅移転関係 28億円、老朽設備取替 15億円 等

(2) 関連事業 11億円（対前期 +9億円／+633.7%）

- ・八王子駅南口開発関係 10億円 等

収支比較表（連結）

（単位：億円、単位未満切捨）

	通 期			主な増減事由
	平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減 金額 B－A	
営業収益	1,902	1,945	+43	<当社> コンテナ収入の増（自動車部品、積合せ貨物、食料工業品 等）、車扱収入の増（石油輸送等）、分譲マンション収入の反動減 等 <子会社> 利用運送事業収入の増、商品販売収入（金属原料、建設資材等）の増 等
営業費	1,777	1,822	+45	<当社> 修繕費、人件費、減価償却費の増 動力費の減（電力の減・流動燃料の増） 等 <子会社> 利用運送事業売上原価、商品仕入費用の増 等
営業利益	124	122	－1	
営業外損益	－20	－17	+2	
経常利益	103	104	+1	
特別損益	85	12	－72	<当社> 仙台貨物ターミナル駅・梶ヶ谷貨物ターミナル駅用地の売却益（前期）の反動減、台風9・10号による災害損失（前期）の反動減 等
税金等調整前当期純利益	189	117	－71	
法人税、住民税及び事業税	30	29	－0	
法人税等調整額	27	9	－18	
当期純利益	131	78	－52	
非支配株主に帰属する当期純利益	2	2	+0	
親会社株主に帰属する当期純利益	129	76	－53	

収支比較表（単体）

（単位：億円、単位未満切捨）

	通 期			主な増減事由
	平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減	
			金額 B - A	
鉄道事業				
営業収益	1,369	1,411	+42	
運輸収入	1,187	1,227	+40	
コンテナ	1,092	1,127	+35	自動車部品、積合せ貨物、食料工業品の増 等
車扱	95	99	+4	石油輸送の増（配送圏見直しによる鉄道利用増） 等
その他収入	182	183	+1	運輸雑収入（補償金工事受入、貨物雑入 等）の増 等
営業費	1,364	1,405	+41	
人件費	393	402	+9	厚生福利費の増、給与支給人員の減 等
物件費	736	761	+25	
動力費	131	127	-4	電力の減、流動燃料の増
修繕費	157	176	+18	線路設備修繕費、車両修繕費、固定資産除却費の増 等
鉄道線路使用料	176	182	+5	J R・第三セクターともに増
その他	270	275	+5	諸部外委託（情報システム関係等）、その他固定費（水道光熱費等）の増 等
減価償却費	179	183	+4	貨車、ソフトウェア、コンテナリースの増 等
租税公課	59	61	+1	
厚生福利施設費相殺	-4	-4	+0	
営業利益	5	6	+0	
関連事業				
営業収益	177	171	-5	分譲マンション収入（前期）の反動減 等
営業費	73	68	-4	
人件費	3	3	+0	
物件費	30	26	-3	
修繕費	4	4	+0	
その他	26	21	-4	分譲マンション仕入経費の減 等
減価償却費	24	23	-0	
租税公課	15	15	-0	
厚生福利施設費相殺	-0	-0	-0	
営業利益	103	102	-1	
全事業営業利益	109	108	-0	
営業外損益	-20	-17	+2	支払利息の減 等
経常利益	88	91	+2	
特別損益	86	16	-69	仙台貨物ターミナル駅用地・梶ヶ谷貨物ターミナル駅用地売却益（前期）の反動減、台風9・10号による災害損失（前期）の反動減 等
税引前当期純利益	175	107	-67	
法人税、住民税及び事業税	25	26	+0	
法人税等調整額	28	8	-19	
当期純利益	120	72	-48	

品目別輸送実績表

(単位：千トン、単位未満四捨五入)

		通 期			
		平成28年度 実績 A	平成29年度 実績 B	増 減	
				輸送量 B-A	% B/A
コンテナ	農産品・青果物	1,969	1,972	+3	+0.1
	化学工業品	2,104	2,097	-8	-0.4
	化学薬品	1,467	1,513	+46	+3.2
	食料工業品	3,693	3,747	+55	+1.5
	紙・パルプ	3,133	3,004	-128	-4.1
	他工業品	1,543	1,595	+52	+3.4
	積合せ貨物	2,674	2,849	+175	+6.5
	自動車部品	771	884	+113	+14.7
	家電・情報機器	435	433	-3	-0.7
	エコ関連物資	460	488	+28	+6.1
	その他	3,745	3,855	+110	+2.9
	計	21,994	22,437	+443	+2.0
車扱	石油	5,945	6,250	+305	+5.1
	セメント・石灰石	1,450	1,374	-75	-5.2
	車両	893	901	+8	+0.9
	その他	657	680	+22	+3.4
	計	8,945	9,205	+261	+2.9
合 計		30,938	31,642	+704	+2.3

連結財務諸表作成上の連結対象会社と開示セグメント

別添4

親会社
(1社)

連結
子会社
(22社)

持分法
適用会社
(11社)

鉄道ロジスティクス事業

日本貨物鉄道(株)

鉄道事業

倉庫・物資別 6社

日本オイルターミナル(株)
日本運輸倉庫(株)
名光急送(株)
東京輸送(株)

関西化成品輸送(株)
(株)大阪鉄道倉庫

利用運送 2社

全国通運(株)

日本フレートライナー(株)

ロジスティクス 11社

(株)ジェイアール貨物・北海道物流	(株)ジェイアール貨物・東海ロジスティクス
(株)ジェイアール貨物・東北ロジスティクス	(株)ジェイアール貨物・北陸ロジスティクス
(株)ジェイアール貨物・北関東ロジスティクス	(株)ジェイアール貨物・西日本ロジスティクス
(株)ジェイアール貨物・南関東ロジスティクス	(株)ジェイアール貨物・中国ロジスティクス
(株)ジェイアール貨物・新潟ロジスティクス	(株)ジェイアール貨物・九州ロジスティクス
(株)ジェイアール貨物・信州ロジスティクス	

関連・その他 1社

北九州貨物鉄道施設保有(株)

不動産事業

関連事業

関連・その他 1社

(株)ジェイアール貨物・不動産開発

その他

関連・その他 1社

ジェイアールエフ商事(株)

臨海鉄道10社

八戸臨海鉄道(株)	鹿島臨海鉄道(株)	衣浦臨海鉄道(株)
仙台臨海鉄道(株)	京葉臨海鉄道(株)	水島臨海鉄道(株)
秋田臨海鉄道(株)	神奈川臨海鉄道(株)	
福島臨海鉄道(株)	名古屋臨海鉄道(株)	

倉庫・物資別 1社

セメントターミナル(株)

※(株)東京液体化成品センターは、平成29年12月株式譲渡により、連結子会社から除外されました。

※(株)オー・エル・エスは、平成30年1月に日本オイルターミナル(株)と合併しました。

計34社

平成30年3月31日現在